

# 解体新書

杉田玄白ほか訳 1774年初版

## 医学史に名を残す日本初の試み

日本で初めて本格的に翻訳された西洋解剖学書です。蘭方医の杉田玄白、前野良沢たちによって翻訳されました。原書は『ターヘル・アナトミア(解剖図表)』の通称で知られるオランダ語訳の解剖書です。本書を長崎で入手した玄白たちは、腑分け(解剖)の現場でその正確性を実感して翻訳を決意したとされています。図版は西洋画を学んだ秋田藩士の小田野直武が手がけ、翻訳に際しては必要に応じて造語するなど、新たな知識を取り入れるための工夫が随所にみられます。

### *New Book of Anatomy, translated by Sugita Genpaku, et al, 1774*

This is the first ever translation of a Western anatomy textbook into Japanese, undertaken by a team of Japanese doctors and Dutch scholars led by Sugita Genpaku. It was during a dissection on an execution ground that Genpaku and his colleagues recognized the accuracy of the Dutch anatomy book, which inspired them to embark on the translation. The illustrations in this book were expertly drawn by Odano Naotake, a feudal retainer who had studied Western painting. In order to effectively adopt the new knowledge, Genpaku and his team had to create new Japanese words to accurately translate the Dutch anatomical terminology.





# 解体新書 :江戸時代(1774年) 杉田玄白等訳

## オランダ語から翻訳しました



なんだか絵が足りないみたい。足りないところをみつけて、完成させよう!

☆「解体新書」はなんていう本の翻訳?  
⇒『ターヘルアナトミア』と呼ばれる、1734年にオランダで出版された本です。

☆蘭学って?  
⇒江戸時代に行われた、西洋の歴史や文化に対する学問のことです。蘭はオランダの意味です。

Question  
なんで西洋の学問を「蘭(オランダ)学」というのでしょうか?

Question  
解体新書は、杉田玄白以外にどんな人が関わっているでしょう?